



～尾花沢の未来をひらくいのち輝く人間の育成～

「レインボーときわ大根」を通したふるさと愛の醸成

1月5日(金)にサルナートで行われた新春祝賀会で、常盤小学校の6年生が「チャレンジ！レインボーときわ大根」についての取組を発表しました。

これは、昨年10月22日に行われた「やまがたSDGs活動発表会」(山形新聞社主催)で、地域や学校の特色を生かした取組として「循環賞」を受賞した内容についての発表でした。

尾花沢市立常盤小学校
5,6年

【発表者】 會田六花さん、秋保一路さん、五十嵐明希歩さん、
落合絢音さん、菅藤琉聖さん、三宅彩夏さん

2023.11.10
山形新聞



長井市の地域資源循環システム「レインボープラン」の仕組みを学び、生ごみを堆肥化する「段ボールコンポスト」について知った。生ごみを燃やさないため二酸化炭素(CO₂)排出量を削減し、家庭から排出される生ごみを減らすことにもつながる。

早速、段ボールコンポストで堆肥を作り、「レインボー常盤大根」の栽培に生かした。堆肥化、栽培、収穫、食べるの循環サイクルを学び、循環は私たちにもつくることのできる自分だった。皆さんも循環をつくって大切に、環境を守りませんか。私たちがSDGs実現に向け、自分でできることを考え行動する。

チャレンジ！
レインボーときわ大根

尾花沢市学校教育の重点施策の1つに、「ふるさと愛を醸成する『夢・志教育』の充実」があります。今回発表した常盤小学校の取組は、「知る・体験する・自ら動く」ことをテーマにした特色ある教育活動の1つです。すなわち、自分たちが生まれ育ったふるさとを「知る」「体験する」ことはもちろんですが、「ふるさとのためにどんなことができるのか」について「自ら(考え)動く」といった地域貢献につながる教育活動でもあります。

また、自分たちで設定した課題を解決するために、情報を収集し、目的に応じて整理・分析してまとめ、必要に応じてICT機器等を活用しながら表現するといった探究する力を育てる教育活動ともなっております。

子供たちの発表した内容の質の高さや堂々とした発表に、多くの参会者の方から賞賛の拍手が送られていました。

常盤小の6年生のみなさん、指導いただいた先生方、そして支えてくださった保護者の皆さまや地域の方々、関係者の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



【担当】尾花沢市教育委員会こども教育課
教育指導室長 工藤雅史
TEL 23-3330